# 解答速報





英語

医特

## 第1問

| 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5 | 問 6 | 問 7 | 問 8 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (2) | (3) | (4) | (3) | (4) | (4) | (1) | (3) |

#### 第2問

| 問 1       | 問 2       | 問 3       | 問 4       |  |
|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
| (7) • (3) | (1) · (7) | (1) • (2) | (2) • (6) |  |

- 問 1 Excessive drinking resulted in him damaging his liver.
- 問 2 Not a day passes that he doesn't contact his mother.
- 問3 The care with which the police looked into the case enabled them to catch the murderer.
- 問 4 I find this too complicated a situation to handle right now.

## 第3問

| 問 1 | 問 2 | 問 3 |
|-----|-----|-----|
| (2) | (1) | (1) |

## 第4問

| 問 1 | 問 2 | 問 3 |
|-----|-----|-----|
| (4) | (1) | (1) |

#### 第5問

- 問1 (i) 1853 年から 1871 年までの木の年輪中に含まれる放射性炭素 (炭素 14) の量を調べてみたところ、 1859 年の太陽フレア (キャリントン・イベント) の間、中緯度地域の木の年輪よりも北極の木の年輪の方が、その含有量が統計的にかなり多かったという発見。
  (ii) より低緯度の地域よりも、北極の方が、成層圏と対流圏の間の大気交換の速度が速く、放射性炭素 (炭素 14) の流入度合いが多くなること。

  問2 太陽フレアによって太陽から地球へと大量に放出された粒子が大気圏で大気分子と反応して放射性炭素 (炭素 14) が生成され、それが大気圏のより低層へと入ってくると、木の組織内に取り込まれ、年輪にその記録が残ることになる。

  問3 これまで研究対象になってきたのは主に中緯度地域の木々であり、さらに今回の研究で対象になったのは北極の3本の木だったので、北極の他の木々でも太陽嵐と炭素 14の関連性を示す年輪記録を探し、再現性があることを保証する研究をする必要がある。
- 問4 【う】

#### 第6問

- Omega 3 fats are generally believed to be effective in preventing heart disease [heart disease prevention / the prevention of heart disease], so taking in enough of them [a lot of omega 3 fats] is recommended [encouraged] worldwide.
  - [別解] As [since] it is generally believed that omega 3 fats help prevent heart disease, enough intake of them [omega 3 fats] is encouraged all over the world.
  - [原文] Increased consumption of omega 3 fats is widely promoted globally because of a common belief that it will protect against heart disease.
- (2) Most of the studies examined the effect of giving long-chain omega 3 (fats) supplements in a capsule [in a capsule form], and compared the result with that of the control where false pills [placebos] were given.
  - [別解] In most studies, the effects of giving long-chain omega 3 supplements in capsule form were examined and compared with those of giving a placebo.
  - [原文] Most studies investigated the impact of giving a long-chain omega 3 supplement in a capsule form and compared it to a dummy pill.
- (3) The Cochrane researchers said that there was hardly any benefit (gained) from increasing the intake of long-chain omega 3 fats in most of their studies.
  - [別解] According to the Cochrane researchers, increased intake of long-chain omega 3 fats didn't do much good [did little good] in most of their research.
  - [原文] The Cochrane researchers found that increasing long-chain omega 3 provides little if any benefit on most outcomes that they looked at.

# ~講評~

- 第1問:これまでとは異なり、文法・語法の出題が6問から8問に変わっていた。例年、藤田医科大の第1問では難問・奇問の類いの出題が1・2問あったが、今年は特にそのような問題はなかったと言える。ただし、問3や問4など、意識して取り組まなければうっかりミスをしてしまいかねない問題があったことに変わりはない。
- 第2問:第2問でも悩ましい問題の出題が毎年あるが、こちらも第1問と同じく、受験生に発想できそうもないような問題の出題はなかった。問2のNot a day passes that ~において、a day に修飾する that 節が分離していることや、問3のThe care with which ~の意訳に関しては和訳問題で訓練されているはずの知識である。
- 第 3 問:NIH の 2023 年 5 月 17 日付の記事 Digging Up the Roots of Food Allergies が出典元で、「食物アレルギーに対する遺伝子治療の応用可能性」について述べた英文であった。例年は 4 問の出題だったが、3 問に変更された。問  $2\cdot 3$  の内容一致問題では、本文で述べられる TGF-beta というたんぱく質と食物アレルギーの関係を明確に理解して、正確に選択肢消去を駆使したい。
- 第4問: The Washington Post 誌の2024年2月2日付の記事からが出典で、「他者の手を握ることから生じるストレス軽減効果」についての英文であった。内容的にも柔らかく、非常に理解しやすい英文だった。第3問の問2・3と同じく、第4問の問3でも、根拠を持って消去法を行う必要がある。
- 第5問:2024年4月9日付の Science News 誌の記事 Polar forests may have just solved a solar storm mystery が出典元で、「北極の木の中に残る太陽フレアの証拠」について述べた英文であった。記述問題は、基本的にどれも、該当箇所を発見し、その部分を和訳し、日本語を成形するアプローチでよかった。例年通り、本文の読解を正確に行い、問いの答えとなる該当箇所を把握できる能力が求められた。
- 第6問:「オメガ3脂肪酸から得られる健康利益に対する実験」についての英文で、3ヶ所で英作文が要求された。 日本語をそのまま英語に訳せばよいものばかりだったので、受験生にとっても扱いやすかっただろう。上 記の解答例では、原文記事の英文も掲載している。

25 年度の藤田未来入試(推薦入試)での出題数変更を踏襲し、第1問が6→8題、第3・4 問が4→3 題となっていた。問題の出題傾向が変わったわけではないので、特に何の影響もなかったはず。全体としては試験のボリューム、難易度ともに例年通りであった。合格には65%を目指したい。



メルマガ登録(無料)または LINE 公式アカウント友だち登録(無料)で全教科閲覧できます! メルマガ登録は左の QR コードから、LINE 友達登録は右の QR コードから行えます。



| 渋谷校<br>(00)。0120-142-760<br>東京都渋谷区桜丘町 6-2                    | 名古屋校<br>図 0120-148-959<br>名古屋市中村区名駅 2-41-5<br>CK20 名駅前ビル 2F | 大阪校<br>○○。0120-142-767<br>大阪府吹田市広芝町 4 – 3 4<br>江坂第 1 ビル 3F |  |
|--|---|--|--|
| 個別専門館<br><b>麹町校</b><br>TEL: 050-1809-4751<br>東京都千代田区二番町 8-20 | 京都校<br>TEL: 075-746-4985<br>京都市下京区下諏訪町 360                  | 医学部特訓塾 TEL:03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F        |  |